

# 第7章 街づくり 第5節 上水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
上下水道局総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	H30年度は前年度に比べ実施校も増え、目標校数も達することができた。受講した生徒の人数は1,285人だった。また、事務局としても先生役の職員を巻き込んで計画的に取組み、授業に子供たちが、より興味を持ってもらえるよう工夫を凝らした。	H30年度に改善した点	無	無			
		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	10千円	18千円	①市内小学校数	出前教室実施校数	目標設定の考え方・根拠	小学校学習指導要領では、水道・電気・ガスのいずれか、また、ごみ・下水道のいずれかを選択して取り上げることとされているため、より多くの学校で水道・下水道を学習し、それに役立ててもらおうと、実施校数を指標とする。目標値は、前年度実績以上とする。								
		根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②実施校数											
		特になし	30千円	7千円	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
		事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員	H29その他職員	① 32校	12校	12校	H30目標値が未達成の理由・分析								
		水道及び下水道の理解を深めてもらうとともに、生活に欠かせない水が限りある資源であることや形を変えながら陸・海・空を循環していること(水の循環)などを知ることにより、水の大切さに気付き、さらには地球の環境保全に対する意識を高めてもらうことを目的とし、市内の小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、上下水道に関する授業を行う。	0.64人	0.00人		② 15校	H30年度目標							H30実績		
	期間	H30正規職員	H30その他職員	① 32校	15校	15校	目標達成済									
	H28年度～	H30正規職員	H30その他職員	② 15校	R元年度目標											
		5,488千円	0.00人		15校以上											
		0.61人	0.00人													
		5,176千円	0.00人													
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、清掃及び機能診断については一定の成果を挙げていると考えている。今後も適正揚水(揚水量10,000m <sup>3</sup> /日)により、取水井の保全に努めていきたい。	H30年度に改善した点	無	無			
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	8,964千円	6,588千円	①取水井の清掃及び機能診断	取水井の清掃及び機能診断実施箇所	目標設定の考え方・根拠						取水井の清掃及び機能診断を毎年2か所実施し、機能維持及び水質保全を図る。		
		根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	H29年度目標									H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析
		水道法	9,504千円	7,754千円	① 2か所	2か所	2か所	H30目標値が未達成の理由・分析								
		事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員	H29その他職員		H30年度目標	H30実績									
		取水井(35か所)の清掃及び機能診断を毎年2か所実施する。取水井の機能維持及び水質保全のため揚水量10,000m <sup>3</sup> /日で運用する。	4.55人	0.00人		2か所	2か所	目標達成済								
	期間	H30正規職員	H30その他職員		R元年度目標											
	H5年度～	5.15人	0.00人		2か所											
		43,698千円	0.00人													
水道建設課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	H30年度は目標年間距離を十分達成している。	H30年度は市内の耐震化率を考慮し、全体的にバランスの取れた更新工事を計画した。	無	有			
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,540,410千円	3,397,707千円	配水管の更新延長	更新した配水管延長	目標設定の考え方・根拠						更新延長の合計(単年度)		
		根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	H29年度目標									H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析
		水道法、所沢市水道事業給水条例	3,403,361千円	2,912,616千円	18,304 m	17,900m	17,974m	H30目標値が未達成の理由・分析								
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員	H29その他職員		H30年度目標	H30実績									
		所沢市水道事業基本計画に基づき、昭和50年後に布設された水道管(導水管・送水管・配水管)を耐用年数を考慮した上で更新を行い、安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築するものである。	17.00人	0.00人		17,900m	18,304m	目標達成済								
	期間	H30正規職員	H30その他職員		R元年度目標											
	S10年度～	17.00人	0.00人		18,000m											
		144,245千円	0.00人													
窓口サービス課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	H28年度に実施した「加入促進の案内文書、口座振替依頼書及び返信用封筒の検針時ポスティング」で利用者への周知が一巡したと思われるため、H30年度から目標値を抑え、設定した。	H30年度に改善した点	無	無			
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	146千円	74千円	①納入通知書戸数	口座振替率 (口座振替件数/給水戸数×100)	目標設定の考え方・根拠						H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②口座振替登録戸数	74.50%									73.51%	
		地方公営企業法・水道法・所沢市水道事業給水条例	71千円	71千円	実績	H30年度目標	H30実績	納付書払い利用者への周知が一巡したためと思われる。転入者を対象として、市民課及び各まちづくりセンターで配布の「転入セット」に口座振替加入促進のチラシを同封する取り組みを行ったが目標値には達しなかったため、更に効果的な方法で事業を進める必要がある。								
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員	H29その他職員		74.00%	72.87%									
		収納に伴う費用が安価である口座振替への加入を促進し、中長期的に費用の削減を図ることを目的とする。	0.10人	0.00人		R元年度目標										
	①口座振替登録者への景品抽選の実施 ②公共施設ほかUR賃貸住宅等での啓発ポスターの掲示 ③検針時の普及活動	0.10人	0.00人	① 46,000件												
	期間	H30正規職員	H30その他職員	② 121,000件												
	H29年度～	0.10人	0.00人													
		838千円	0.00人													

# 第7章 街づくり 第5節 上水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	不明水の発生を抑えるため、破損等により修繕の必要がある共有管(複数世帯で共有している私設水道管)を積極的に市で譲り受け、布設替えを行っている。また、管洗浄事業が進み、濁水発生の減少が見られる。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	161,640千円	122,693千円	①給水管布設替延長 ②配水管クリーンアップ	有収率 有収水量÷配水量×100	有収率が高ければ、破損等のない水道管が維持されていると推定できる。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	183,363千円				177,370千円							
	水道法、所沢市水道事業給水条例	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	9.60人	0.00人	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	82,320千円	0.00人	H30年度目標	H30実績	不明水(地下漏水)が発生しており未達となっているが、高い有収率を維持している。							
	安全かつ安心して利用できる水の安定供給を行うため、老朽化した水道管の早期修繕等によって、水道施設の保全と有収率の向上を目指す。	H29非常勤特別職	H29その他職員従事割合	9.27人	0.00人	R元年度目標									
	期間	H30非常勤特別職	H30その他職員従事割合	78,656千円	0.00人	100%									
S57年度～								評価者	給水管理課長 根岸 清						
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成29年度に西部加圧ポンプ場2号池の耐震診断により、耐震性があるとの結果から平成29年度実績として71.7%とした。平成30年度は配水池の補強設計及び耐震診断のみであったため、耐震化率は平成29年度と同数地となる。水道施設の基幹施設である配水池等の耐震対策を施すことにより、災害に強く、安全で安心な配水を持続するよう努めていきたい。	H30年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	98,216千円	91,864千円	①耐震診断 ②耐震補強設計業務	配水池の耐震化率 (耐震対策の施された配水池の有効容量÷対象配水池等の有効容量)×100	耐震化を進めることが当該事業の目的となっているため、耐震化率を指標とする。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	51,192千円				39,528千円							
	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	3.90人	0.00人	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	33,443千円	0.00人	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
	配水池等(13池・総有効水量92,000m³)の耐震診断を順次行い、その結果に基づき耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、耐震化する。	H29非常勤特別職	H29その他職員従事割合	4.05人	0.00人	R元年度目標									
	期間	H30非常勤特別職	H30その他職員従事割合	34,364千円	0.00人	71.70%									
H21年度～							評価者	給水管理課長 根岸 清							
経営課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成30年度は、既存建物の解体工事を行い、貸付に向けて準備を進めた。また、コンサルタント業者と契約を締結し、広報作成等の補助を受けた。平成30年度内に民間事業者との貸付契約を締結することができ、令和元年度から貸付賃料収入を受ける。	H30年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	74,727千円	69,313千円	①当該事業支援業務の委託 ②既存建物の解体工事 ③貸付契約の締結	月額賃料	未利用地を民間事業者等に貸付けることにより資産の有効活用を図り、収益を確保することを目標としている。目標値としては、公正証書による契約額を設定する。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	119,746千円				118,000千円							
	事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	0.55人	0.00人	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	本事業は、量水器等の倉庫や駐車場・駐輪場として利用している旧水道庁舎について、更地化して敷地を普通財産として貸し付けることにより、経済的活用を図るものである。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	4,716千円	0.00人	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
	期間	H29非常勤特別職	H29その他職員従事割合	0.60人	0.00人	R元年度目標									
	H29年度～	H30非常勤特別職	H30その他職員従事割合	5,091千円	0.00人	855,000円(1か月当たり)	860,000円(月額)								
							評価者	経営課長 小池 純一							
経営課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢市水道ビジョン策定に係る局内4つの部門体制(水需要、施設設備、管路、財政収支)を構築し、水道施設の更新に係る費用負担の平準化や水需要に見合った施設の適正化などについて、協議を重ね経営判断を仰いだ。これにより、効率的かつ実効性のある事業計画の見直しを検証することができた。	H30年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①分析表評価業務 1)水需要の算出 2)資産の将来見通し把握 3)収支計画・財源の確保等 ②水道ビジョン・経営計画の策定	策定に向けた進捗状況	水道事業の将来像を描き実現に向けた計画として、3年度開始を目的に「水道ビジョン」「経営計画」を策定し、経営基盤の強化を図るもの。目標値としては、令和2年度の策定を100%として設定する。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	11,470千円				9,720千円							
	特になし	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	0.00人	0.00人	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の具体的な内容及び目的	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0千円	0.00人	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
	水道事業の各種施策を示した既存の計画が、令和2年度をもって終了することから、平成30年度はアセットマネジメント手法により、水道事業の現状と将来の見直しを分析・評価した。「所沢市水道ビジョン」及び「水道事業経営計画」の策定を令和元～2年度にわたり実施し、経営基盤の強化を図るもの。	H29非常勤特別職	H29その他職員従事割合	1.49人	0.00人	R元年度目標									
	期間	H30非常勤特別職	H30その他職員従事割合	12,486千円	0.00人	分析・評価(30%)	評価済み(30%)								
H30～							評価者	経営課長 小池 純一							

第7章 街づくり 第5節 上水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響			
			会計	投入コスト	活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
経営課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	広告募集枠すべてに広告を掲載し、上下水道局としては目標金額を達成した。  評価者 経営課長 小池 純一	H30年度に改善した点	無	無	
	最優先	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	0千円	0千円	①広告料収入	広告料収入	新たな財源の確保に努める事業のため、広告料の収入額を指標とした。				事業開始時は半年ごとの契約としていたが、要綱を改正し1年間の契約とすることで、経費を削減し収益性の向上を図った。			
	根拠法令	所沢市上下水道局印刷物広告の掲載に関する要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)			H29年度目標	H29実績			H30目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	自主財源確保促進事業(検針票広告)	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	H30目標値が未達成の理由・分析			継続的に広告契約を獲得するため、積極的な営業活動を展開していく。			
	水道メーターの検針時に配付する検針票を広告媒体として活用し、民間事業者等の広告を掲載することにより、新たな財源の確保に努めるもの。なお、検針票は水道料金と下水道使用料を合算して請求していることから、下水道事業との共同事業として実施する。	0.00人	非常勤特別職	H30年度目標				H30実績						
	期間	H30~	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①54千円	54千円	54千円	R元年度目標						
		1,886千円	臨時職員		110千円		目標達成済							